

生活文化産業学

(第 1・3 木曜日 午後 14 時～／成徳学舎)

第 4 回 生活文化産業において活用されるハードウェア

担当:小原美和・大倉 朗寛

～講義の流れ～

1. はじめに／ハードウェアの体系化について (14:00～／30分)
2. タブレット (iPad、GALAPAGOS、Reader) について (14:30～／30分)
3. ショールーム (LIXIL、ソニー) について (15:00～／30分)
4. 【情報共有】 iPhone / iPad (15:30～／10分)
5. ディスカッション、まとめ (15:40～／20分)

～内容～

1. はじめに／ハードウェアの体系化について (14:00～／30分)
 - ・ハードウェアとは
 1. 第 1 のハードウェア (=固定型)
例) テレビ、スクリーン、PC、FAX、手帳、ノート、設備、店舗
 2. 第 2 のハードウェア (=移動型)
例) 携帯電話／スマートフォン、新聞、専門誌、ラジオ、チラシ、商品、車両
 3. 第 3 のハードウェア (=創造型)
例) ???
 - ・生活文化とハードウェアの体系化
 1. 「情報」と「行動」といった視点による分類
情報に関してはインプットのみ、双方向、アウトプットのみに分類できる。
行動に関しては、購入・利用、目的地、手段に分類できる。
 2. 「固定型」と「移動型」といった視点による分類
ある特定の場に置く「固定型」と、自由に持ち運ぶ「移動型」に分類できる。
- ・ハードウェアを媒体として発信され得る情報と関連ソフトウェア
 1. 文字情報
 2. 映像
 3. 音

2. タブレット (iPad、GALAPAGOS、Reader) について (14 : 30 ~ / 30分)

現在、国内市場に流通しているタブレット端末は、Apple 社の iPad、シャープ社の GALAPAGOS (ガラパゴス)、ソニー社の”Reader”(リーダー)などが挙げられます。今のところ、下記のようなアプリが充実している iPad が優勢ですが、GALAPAGOS は、iPad では対応していない Flash に対応していたり、日本のメーカーが開発しているということから日本語に強いという点から今後盛り返すと予想されます。”Reader”は、今後 Amazon のような書籍購入促進機能が追加されれば、より幅広いユーザ層を確保することができるように思われました。

また、タブレット端末は、テレビや新聞、ラジオ、PC、FAX、携帯電話/スマートフォンといった既存のハードウェアとの連携(情報共有など)がより密接となり、タブレット端末が日常生活や仕事における情報のやりとりの起点となって様々な機能を担ってゆくと予想されます。

それから、市民大学院の開講に合わせて、小原美和さんが中心となって沖縄で iPhone/iPad 研究会が立ち上げられました。その活動によって共有・蓄積している情報やノウハウをもとに、下記のネット上の情報(グローバル情報)に関してコメントを頂きました。

[手書きメモアプリ「7notes」の iPhone 版が近日登場](#)

小原 「7notes はとても便利なアプリと思う。私自身がこのようなメモアプリを使う時は、打ち合わせ時に使いたいと考えている為、書くスピード重視で考えるとこのアプリだと思うようなメモがとれない。文章を書くという意味のメモアプリであれば最高のアプリだと思う。そのため私が使っている打ち合わせの時に使うツールは、SHOTNOTE を使っている。手書きで書いた後で Evernote に送信し、清書するかそのまま画像として保存している。」

[Facebook ユーザーと電話番号不要で通話できる iPhone アプリ「Reengo」](#)

小原「このアプリは、とても便利です。電話番号を知らなくても急に連絡を取らないといけない場合に、Facebook で友達になっていれば電話ができます。3G 回線でもできるので、Skype よりも手軽に出来るところが便利。Reengo を入れている友達リストも表示されるので誰だったら電話ができるかもすぐに分かるため、名前を選択して電話するだけ。災害時にも役立つはず。」

[「実用 Android 派」と「エンタメ iPhone 派」が若年層では拮抗.....M1・F1 総研](#)

小原「この内容は、私の周りでスマートフォンを使っている人たちの意見と一致している。

私の印象では、Android は、

- ・キャリアを変えたくないけど、スマートフォンを持ちたい
- ・お財布携帯
- ・パソコンがある程度使えないとかなりのストレスを感じている
- ・アプリの質が iPhone アプリより悪い(審査が無いためそうなっていると考えられる)
- ・セキュリティが怖い。公衆無線 LAN ではネットを繋がない。セキュリティ関連の対策を行う。

無名なアプリは安易にダウンロードしない。

iPhone は、

- iPhone が使いたいからソフトバンクに乗り換えた
- Apple 好きが多い
- 操作感は、iPhone の方が格段に上
- 電波感度が悪い。ソフトバンクのせいだけでもない。iPhone3GS では、電波がたっていないのに、iPhone4 では電波は良好な場合が多々ある。

これは、主観的な部分もありますが、私自身が Android を持っているので単純に思ったことと、周囲の意見もまとめた感想です。」

【参照URL】

アップル - iPad - まったく新しいデザイン。ビデオ通話。HD ビデオ。ほかにもいろいろ。

<http://www.apple.com/jp/ipad/>

iPad 2 - より薄く、より軽く、より速く。 - Apple Store (Japan)

http://store.apple.com/jp/browse/home/shop_ipad/family/ipad

GALAPAGOS ニュース:シャープ

<http://www.sharp.co.jp/galapagos/news/>

カタログ PDF ダウンロード | メディアタブレット:シャープ

<http://www.sharp.co.jp/mediatablet/pdf/index.html>

電子書籍リーダー“Reader”(リーダー)| ソニー

<http://www.sony.jp/reader/>

3. ショールーム (LIXIL、ソニー) について (15:00~/30分)

情報はツールを媒体として場を形成しながら発信されると考えることができます。創造型ハードウェアとしては、今後、ショールームへの様々な情報集約および情報発信など機能強化することで、その役割が重要視されてくると考えています。また、ショールームは国内外の生活文化産業における極めて重要な情報発信および価値創造(商品開発)の拠点になり得ると私は考えています。

たとえば、リクシル社(住生活グループ)のショールームの事例を挙げさせていただきますと、トステムや INAX などといったブランド名で分散していた商品が、2011年4月に“LIXIL(リクシル)”というブランド名で統合され、さらに競合する TOTO の商品も LIXIL ショールームで展示されるとのことでした。

生活文化に関連する様々な情報が、ある特定の場所に集約されれば、それによって各情報が融合されて新たな価値が創出されやすくなる環境が整備されると考えられます。たとえば、ショールームに開発者が常駐することで、顧客との会話が円滑になって相互学習が促進され、ショールーム(ショールーム的な役割を担う空間や場なども含む)が知的創造空間となって、市場ニーズを確実に捉えた新しい商品やサービスを創出し続けることができると考えられます。

それによって販売単価の下落を防ぎ、販売単価を上昇傾向に転換してゆくことができ、利益を永続的に維持・確保してゆくことができると考えられます。各地域に固有かつ多様な地域資源に根ざした日本の生活文化産業において、リクシル社の今後の事業展開に注目し、大いに期待したいと思っています。

【参照URL】

LIXIL | ショールーム

<http://www.lixil.co.jp/showroom/>

銀座 | ショールーム | ソニー

<http://www.sony.jp/showroom/ginza/>

4. 【情報共有】iPhone/iPad (15:30~/10分)

- ・ [生活文化産業学 | 市民大学院 \(文化政策・まちづくり大学校\)](#)

5. ディスカッション、まとめ (15:40~/20分)